



(株)さくらだファームの菌床しいたけハウス
(左から従業員、代表取締役、取締役)

1 現状及び相談内容

櫻田氏は菌床しいたけを中心とした経営を、父親は水稻を中心とした経営を、別経営体として行っていた。

法人化を検討する中で、**経営の一本化**を検討していたことから、関係する**税務や就業規則の作成及び人的資源活用**について、専門家派遣の希望があった。

3 人材の確保・育成に資する取組

★他産業から転職者を採用し、幹部候補生として育成

■他産業からの転職者を幹部候補生として育成確保

従業員は3名とも**他産業から転職した若手の正規従業員**である。従業員の能力向上のため、役員や経験年数の長い従業員から指導を行っている。また、各種社会保険に加入し、従業員の福利厚生の実現に取り組んでいる。

■人事・労務管理から人的資源の有効活用

就業規則の策定や従業員の雇用管理についてアドバイスを受けながら、**人材確保・育成や人事評価制度などの人的資源活用に対する理解を深める**ことができた。今後、人事面談やキャリア開発等の人材育成に向けた取組を行い、**従業員の自己実現と法人の発展**を図っていく。

今後の意気込み

会社として安定した仕組みを作り、経営者も従業員も安心して楽しく働ける職場を作っていきます。仲間を増やしつつ、共に成長し合い、地域にイノベーションを起こします。農業で稼いで生き抜いていく！目標売上1億円！

経営概要

◆代表者、所在地

代表取締役 櫻田大河、岩手県雫石町

◆設立年

令和5年5月

◆経営規模

菌床しいたけハウス8棟（2万2千玉）、水稻10ha、菌床ブロック製造施設1棟、繁殖和牛11頭

◆従業員数

役員2名、正社員3名

◆事業内容

菌床しいたけを中心とした複合経営で、農産物の生産、JA出荷、産直販売と、菌床しいたけブロックの製造・販売に取り組む。

2 支援内容

普及指導センター、町、JAで構成する現地支援チームによる**経営改善の相談**や中小企業診断士による**経営診断**、税理士による法人化に向けた個人経営からの**資産譲渡や、賃貸借・売掛金の扱い等の税金に関する助言**、社会保険労務士による**就業規則の策定指導や労務管理改善などに関する助言**を行った。

■雇用者の作業能力向上に向けて

各作業の効率アップに向け、**作業手順書の作成や業務指示の仕組みの改善**に取り組んでいる。

従業員の大型特殊免許やドローンの操縦に必要な資格の取得に取り組んでいる。



社会保険労務士による作業手順書の作成助言の様子

専属スタッフ所感

就業規則の整備に加え、人材確保・育成や人事評価制度、キャリアアップなどについて理解を深められました。従業員の方々が「働きやすい」、「やりがいがある」と感じることができる職場環境の実現を期待しています。



(株)あさぎいろの皆さん

経営概要

- ◆代表者、所在地
代表取締役 内山賢祐、 福島県浪江町
- ◆設立年
令和5年2月
- ◆経営規模
ネギ 2.5ha
- ◆従業員数
取締役4名、パート・アルバイト1名
- ◆事業内容
J A出荷を中心としたネギの周年栽培に取り組む。

1 現状及び相談内容

令和4年度に、県外から原子力災害被災地域である浪江町に移住して、新規就農することを希望し、経営基盤の安定化と人材確保に向けた法人化を検討していた。しかし、**農業法人設立の知識がないため、関係法令等を含めた助言を必要としていた。**

2 支援内容

農業経営・就農支援センターと公益社団法人福島相双復興推進機構が連携し、**農業分野特有の法規制や労務管理について助言**を行った。

3 人材の確保・育成に資する取組

★取締役全員が他県からの移住新規就農者であり、同郷からの就農者を呼び込むために寮を整備するとともに、地域でパート従業員の雇用を創出

■社員寮整備で県外からの新規就農呼び込み

群馬県で飲食店を経営していた代表取締役ら4名は、コロナ禍をきっかけに農業に参入することを計画し、**縁があった福島県浪江町に移住後、法人の設立とともに就農した。**

経営開始資金等の各種事業を活用しながら周年のネギ栽培に取り組んでおり、今後は規模拡大を目指し、雇用を増やしながら経営を発展させる計画である。

計画達成に向けて雇用に関しては、地域住民を雇用するほか、**社員寮として戸建て住宅を借上げており**、今後、群馬県を含む他県から**移住する新規就農者を呼び込む準備を進めている。**

■技術・知識の定着に向けた取り組み

全員が新規就農者であるため、なるべく**同じ作業を全員で実施することにより、知識・経験を共有し、業務レベルの底上げを図っている。**全員が作業に習熟した後に得意な部門に振り分けることで業務を効率化する予定である。

また、規模拡大のために大型機械の導入も検討しており、大型特殊自動車運転免許の取得も進めている。



社員寮

今後の意気込み

周年栽培でいつでも収穫できるようにすることで、人材の確保や規模拡大を図るとともに、機械化等も進めて経営発展につなげていきたい。

専属スタッフ所感

若手の新規就農者が4名増え、さらに新規就農者を他県から呼び込む予定であることは、担い手不足が懸念される地域において大きな期待が持てます。